

別添4

みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうちスマート農業総合推進対策のうち  
スマートグリーンハウス先駆的開拓推進事業の事業評価票

評価担当課 園芸作物課

事業実施主体	事業内容	事業費(円)		A : 計画以上の成果が見られる
株式会社アグ プロテック	1. 事業化可能性・周辺環境調査 事業化可能性・市場環境調査・技術構築調査 2. 知的財産保護活動 本わさび種子輸出に係るベトナム農業省との調整等 3. 制度対応支援 ロシアナショナルリストへ登録許認可環境整備 および市場販売事業化調査 4. 技術移転・研修 栽培・調整技術の構築・運用指導および技術 移転・研修 5. 成果報告書の作成	28,547,878円 (うち国費 28,547,878 円)	総合評価	B : 計画通りの成果が見られる
				C : 計画通りの成果がみられない
			総合所見	ベトナムにおける本わさび生産、ロシアにおけるイチゴ生産に関して、計画に即した取組が行われ、高品質な本わさび種子の生産体系を構築するとともに日本イチゴのナショナルリスト登録に向けた体制整備が進んでおり、ベトナム、ロシア両国における事業化に係る計画どおりの成果が得られたと判断できる。
評価観点ごとの所見				
a成果目標が達成されているか				
<p>・ベトナムにおける本わさび生産については、山口県内の中山間地において種子プラントを構築するとともに、高品質種子の確保を可能とする技術確立している。また、生産した種子のベトナムへの輸送及び現地での生産についても問題なく実施可能なことを確認しており、成果目標を達成したと判断できる。</p> <p>・ロシアにおけるイチゴ生産については、イチゴのナショナルリスト登録に必要な栽培試験地の選出および技術者の確保には至っていないが、ナショナルリスト登録にあたっての事務手的な手続き内容を明らかにするとともに、栽培試験実施先確保のためのロシア農業省との連携が図られている。また、北方四島を想定した一季なり日本イチゴ栽培を可能とする高耐寒性ハウスの設計を完了しており、概ね成果目標を達成したと判断できる。</p>				
b計画に即した取組が行われたか				
計画どおりの取組が行われている。				
c予算の執行が適正に行われたか。また予算に見合った成果が出たか				
<p>・事業目的に沿った計画通りの取組が行われており、予算の執行は適正であると考えられる。</p> <p>・ベトナムでの本わさび生産およびロシアでのイチゴ生産の事業化に向けた取組が確実に進んでおり、予算に見合った成果が出ていると判断できる。</p>				

<記載要領>

- 1 評価観点ごとの所見欄には、a、b、cそれぞれの観点からの所見を記載する。
- 2 総合評価欄には、評価観点ごとの所見欄を踏まえて、A、B又はCのいずれかに○を付ける。
- 3 総合所見欄には取組全体について総合的な所見を記載する。
- 4 事業内容欄は、事業実施状況報告書に準ずる。
- 5 事業費は決算額を記入する。